

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらくる 楽さん家		
○保護者評価実施期間	令和7年1月24日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6ヶ所(7名)	(回答数) 6ヶ所(7名)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問支援員が障害児・者支援の経験豊富な言語聴覚士であること。	・対象児の発達特性や本人が理解しやすい情報伝達の方法を共有している。 ・対象児の訪問先での困り感に対して、先生方が取り入れやすい支援方法を提案している。	・今後も訪問先での困りごとを共有し、先生方が取り入れやすい支援方法を提案していく。
2	・児童発達支援、放課後等デイサービスを一体的に運営している。	・訪問先での様子を児童発達支援、放課後等デイサービスの職員にも共有している。 ・保護者には、訪問報告書を作成して配布している。	・訪問先での課題を児童発達支援、放課後等デイサービス職員にも共有し、個別支援が必要なところを事業所内でサポートしていく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・営業日が月・水・金曜日のため、訪問日程が調整しづらい。	・多機能型事業所であるため、他事業の人員配置の関係で週3日の営業となっている。	・他事業の人員を確保し、訪問日程が調整しやすいように営業日を増やしていく。
2	・訪問先の先生方と話し合う時間が取りづらい。	・担任の先生はクラス運営があるため、振り返りの時間をいただくことが難しい。	・短時間で効果的な情報共有ができるようにしていく。訪問先の時間に合わせて再訪問し、振り返りの時間を設けていく。
3	・保護者、相談支援専門員等の関係者が一堂に会して情報共有する機会が少ない。	・保護者のニーズを事前に確認して訪問しているが、園や学校と事業所とのやりとりが中心になっていて、相談支援専門員と訪問先との関わりが少ない。	・担当の相談支援専門員との情報共有を行い、年に1回は訪問先を交えて情報共有できる場を設けていく。